

## 【一覧】戦略委員等からのご提案やご意見と、戦略での取扱い(案)

R1.12.19 羽咋市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議資料

基本 目標	番号	ご提案	戦略での取扱いなど 赤字部分は追記・変更点
I	①	金沢のベッドタウン羽咋へ。通勤の特急利用者に補助してはどうか。また、羽咋市に留まった市内高校生やUIターン者の若者に奨励金や祝い金、サービス券を発行するのはどうか。	検討課題とさせていただきます。 まずは、P22基本目標Ⅱ-2-(2)転入者と女性を手厚くする支援を実施していきます。
	②	日本政策金融公庫の講師派遣等を活用してはどうか。	参考とさせていただきます。
	③	起業・事業承継への取り組みについて、経費やハード面の支援のほか、起業後のフォローアップや勉強会、情報交換会等ソフト面の支援も大切なのではないかと。	関連事業として、P16基本目標Ⅰ-1-(2)の具体的な事業に追記いたします。
	④	日本政策金融公庫の新規就農者向けの融資制度、経営計画の作成、セミナー等の活用を検討するのはどうか。	参考とさせていただきます。
	⑤	のとししの販売額目標を設備投資と見合ったものに再設定すべきではないか。	P17基本目標Ⅰ-2-(1)のKPI「のとしし販売額」の目標値を35,000千円に変更いたします。
	⑥	来年度で自然栽培の取り組みを始めて10年になるのを機に、条例を制定するのはどうか。また、「自然栽培の日」の設定など、地元の消費を喚起し、安定的な生産拡大を図る必要があるのではないかと。	P17基本目標Ⅰ-2-(1)の具体的な事業「関係企業と連携した羽咋ブランドのPR、販売力強化」の中で自然栽培週間等の企画を検討してまいります。
	⑦	のとししの食わず嫌いをなくすため、幼少期からなじんでもらうことが重要であり、例えば学校給食や、「ジビエの日」の設定など、地元消費を増やす工夫も必要なのではないかと。	P17基本目標Ⅰ-2-(1)の具体的な事業「ジビエ料理」の普及・販売に係る支援」の中で実施してまいります。
	⑧	市の人口動向に関する分析報告書で報告があった、市出身者の最も大きな転出理由である「就職」を克服しない限り、流出に歯止めはかからない。企業誘致といっても、制限やリスクが大きいため、空き家リフォームによるSOHOや、サテライトオフィス誘致はどうか。	P22基本目標Ⅱ-2-(3)の具体的な事業に掲載し、実現に向けて取り組んでまいります。
	⑨	大学卒業後15年間の羽咋市の居住で返済免除する給付型奨学金制度を創設してはどうか。	給付額・要件・方法・財源等を検討し、実施の可能性を調査してまいります。
	⑩	女性や若者が集うまちにするため、クリエイティブ産業の育成はどうか。	まずは、P22基本目標Ⅱ-2-(3)の具体的な事業で新たに掲載した「空き家リフォームによるSOHOやサテライトオフィスとしての活用を推進」の中で取り組んでいきたいと考えております。
	⑪	IoTやAI等の新技術の関連企業を誘致すべきではないか。	

基本目標	番号	ご提案	戦略での取扱いなど 赤字部分は追記・変更点
II	①	妙成寺の国宝後を見据え、インバウンド向けや市内周遊観光の促進施策の強化が必要なのではないか。	P21基本目標II-1-(6)の具体的な事業に関連事業を掲載し、取り組みます。また、市内周遊型観光につきましても、P19基本目標II-1-(1)の具体的な事業に関連事業を掲載し、実施いたします。
	②	羽咋市や宝達志水町に点在する温泉を「ハマナス温泉」などと総称で売り出すのはどうか。	P19基本目標II-1-(1)の具体的な事業に関連事業を掲載し、検討いたします。
	③	市内宿泊者数増加のために、例えばクーポンや千里浜夕日鑑賞、朝の曳き網漁業体験、夜の祭り体験など滞在型観光のコンテンツを増やすのはどうか。	P20基本目標II-1-(3)の具体的な事業に関連事業を掲載し、取り組んでいきたいと考えます。
	④	自然栽培やハトムギ、温泉などと絡めた「美容のまち」として売り出し、女性観光誘客増加につなげるのはどうか。	P17基本目標I-2-(1)の具体的な事業「関係企業と連携した羽咋ブランドのPR、販売力強化」の中で企画・検討してまいります。
	⑤	道の駅・妙成寺・気多大社のイベントのマッチングなど観光資源の連携戦略を行ってみてはどうか。	P19基本目標II-1-(1)の具体的な事業に関連事業を掲載し、取り組んでまいります。
	⑥	石川県に訪れている外国人観光客は、文化や歴史に興味のある人が多い。その方たちに羽咋の歴史等を知ってもらい、羽咋市内の民泊等に宿泊してもらうような受入整備を行うのはどうか。	P21基本目標II-1-(6)の具体的な事業を修正し、実施してまいります。
	⑦	多言語対応のデジタルサイネージの設置の予算によっては、“伝わる”ことが重要なので、ソフトについても同様に整備の検討が必要なのではないか。	
	⑧	空き家・空き地を市で積極的に取得し、若い世代の方に安価で提供すればどうか。埋め立て等で新規に造成した土地よりも、昔から人が生活していた土地の方が地震や浸水に強く、防災の面、治安の面でもよいのではないか。	移住者支援事業は、将来的には、NPO法人や民間が主導で行っていくものと考えております。
	⑨	東京23区内から移住し、新たに起業する人などに支給される国の起業支援金・移住支援金制度を活用し、能登みらい農業はいく放送局などとも連携して、羽咋への移住や、UIターンを促すのはどうか。	同制度については、対象企業への呼び掛け、移住体験ツアーなどでの併用により有効活用できるような図ってまいります。
	⑩	封建的で男尊女卑的な考えが色濃く残る考えを変えていかなくては、時代に機敏な若者や女性の持続的な転入や転出抑制は厳しいと考える。若者・女性の転入者支援には、市民の意識改革を促す支援が必要なのではないか。	関連条例に基づき、関係する委員会の下、取り組んでまいります。
	⑪	空き地バンクの整備が必要なのではないか。	P22基本目標II-2-(3)を空き地を盛り込んだ施策内容に修正いたします。
	⑫	今後の外国人労働者の増加も見据え、地域に無用なトラブルを防ぐ観点から、市民と市内在住の外国人との交流も必要ではないか。	P23基本目標II-2-(5)により実施してまいります。
	⑬	各観光施設や小売店等で、外国人観光客とのスムーズなコミュニケーションが必要であるが、パンフレット、翻訳機や翻訳アプリ等の整備といったコミュニケーションに関する支援が必要なのではないか。	P21基本目標II-1-(6)の具体的な事業に関連事業を掲載し、関連サービスを周知してまいります。

基本目標	番号	ご提案	戦略での取扱いなど 赤字部分は追記・変更点
Ⅲ	①	少子高齢化、人口減少が急速に進む中、小学校の統廃合や小中学校統合、一クラス10人未満の教育が本当に児童のためになっているかについて真剣に検討する必要があると考える。少なくとも一学年20人規模×2クラスを構成できる学校数とするのはどうか。	今後策定する学校施設整備計画案で検討してまいります。
	②	PTA活動や育成会活動は、親にとって非常に負担になっている。特に仕事・子育て・親の介護を同時に行っている家庭も多く、早急な対応が必要である。多子を阻む要因の一つと考えられ、親のPTA活動や育成会活動の負担を軽減すべきではないか。	育成会において、行事削減を検討していただきたいと考えております。
	③	公園整備だけでなく、市内の商店街活性化も兼ねて、マルシェ跡地や商店街の空き店舗に公園のような空間を創出してはどうか。また、子どもを連れて参加できるイベントの創出も検討してはどうか。	P32基本目標Ⅳ-4の都市機能の集積化と再編の中で、羽咋駅周辺整備基本計画や立地適正化計画に基づき、検討してまいります。
	④	市内在住の男性と市外女性のマッチングの方向性について考えているか。広域的な婚活イベントをより具体的な取り組みとしてほしい。各団体が別々に取り組むのではなく、一体化した活動を願う。	P24基本目標Ⅲ-1-(1)の具体的な事業の中で、広域的で効果的なイベントを実施してまいります。
	⑤	出生数増加に直接効果があるのは不妊治療による出産ではないか。不妊治療費を2人目、3人目も含め全額補助するなどの重点的な支援こそ政策効果が高く、不妊治療の分野に力を入れるべきと考える。	生殖医療という繊細かつデリケートな領域であり、精神的負担の軽減など、個々の相談に丁寧に対応してまいります。
	⑥	昨今の結婚する女性にとって、子育ての環境等が住むまちを選ぶ上で重要な要素になっており、子どもの遊び場の整備等子育てしやすい環境づくりをすべきではないか。	P26基本目標Ⅲ-2-(3)「子育てに優しい環境の整備」で取り組んでまいります。
	⑦	周囲の子育て世代の意見として、雨天でも子どもを遊ばせることができる屋内型の施設を望む声をとても多く聞く。屋内型の施設の遊び場や、子育て世帯が息抜きに利用できるカフェなどくつろげる空間を整備してはどうか。	P32基本目標Ⅳ-4の都市機能の集積化と再編の中で、羽咋駅周辺整備基本計画や立地適正化計画に基づき、検討してまいります。
	⑧	民間で行うことであり、行政が積極的に関わることは難しいが、市として、祭り等伝統行事やその準備における男女平等を推進すべきではないか。	関連条例に基づき、関係する委員会の下、取り組んでまいります。
	⑨	女性が子育てをしやすい環境をつくるには、子どもを預けながら働ける状況が必要である。延長保育時間午後10時まで預かる保育施設を設けてはどうか。	子育てニーズ調査の結果を考慮しながら、延長保育時間を検討してまいります。なお、P26基本目標Ⅲ-3-(1)の具体的な事業にあります、「質の高い保育サービス」の中で、まずは、延長保育時間を拡充した保育施設数を増やしていきたいと考えております。
	⑩	近くに祖父母や親類、信頼できる友人がいない人のために、マルシェ跡地等を活用し、保育園での急な発熱の子どもを一時的に移すスペースを設けてはどうか。また、移送にはシルバー人材センターの高齢者を起用するのはどうか。	病後児保育をこすもす保育園で、病児保育をファミリー・サポート・センターで行っております。なお、病児保育施設での病児保育は、医療機関に併設した形が望ましいと考えられ、今後の検討課題とさせていただきます。
	⑪	学校を活用した塾講師の派遣等、所得格差なく高度な教育を支援するのはどうか。	本市は、教育の機会均等の理念に沿って質の高い教育を提供しており、また、個人情報保護の観点から通常教室の一般開放はいたしておりませんので、ご理解願います。
	⑫	数学検定の助成制度を新設するのはどうか。	今後の検討課題とさせていただきます。

基本目標	番号	ご提案	戦略での取扱いなど 赤字部分は追記・変更点
Ⅲ	⑬	プログラミング教育の学習用ロボット導入というKPIは見直しが必要ではないか。どのようなプログラミング教育があるのかを精査した上で、多様なプログラミング教育に対応したKPIを再設定すべきと考える。	プログラミング学習教材(車型・動物型等)を各校の授業時にクラス人数に1つずつ行き渡る意味のKPIに修正いたします。 ※P25基本目標Ⅲ-4-(3)のKPI②を市内小中学校のプログラミング学習教材導入台数 各校15台以上(R6年度)(事業時に1人～2人に教材1台整備)に修正いたします。
	⑭	開かれた学校運営の実現のため、校長への指導徹底や、PTAからPTCAへの移行を検討してはどうか。	校長会で議論し、学校運営においてできる範囲で地域行事に関わっていくよう努めてまいります。また、一部の行事等では、地域の方々の協力により、PTCA体制に近づきつつあると考えておりますので、ご理解願います。
Ⅳ	①	現分譲地の防災対策の検討をしてはどうか。新規の分譲地設定には防災面を考慮すべきではないか。	現分譲地の安全性は高く、また、共助の取組みも大切であると考えております。
	②	「公営住宅の整備」について、ターゲットを移住者・子育て世代に絞り、総合戦略の目玉にすることも検討してみてもどうか。	P30基本目標Ⅳ-1-(2)の具体的な事業に、関連事業を掲載し、取り組んでまいります。
	③	学校も含めた既存施設の統廃合、取捨選択を可及的速やかに断行すべきではないか。	学校施設も含めた公共施設の最適化を図ってまいります。 P30基本目標Ⅳ-2-(1)の具体的な事業の中に、関連事業を掲載いたします。
Ⅴ	①	健康寿命の延伸に向けて、市民が気軽に利用できる低料金の屋内ジムの設置が必要ではないか。その際、既存の施設を活用し、投資を抑えることも重要だと考える。	健康寿命延伸に係る各種サービスを実施しており、その点や財政面も踏まえ、ジムの開設については検討課題とさせていただきます。
	②	電気自動車やPHVの拡大には充電設備が重要であり、法人・個人を問わず、設置を推奨するべきではないか。	国の政策や自動車業界等の動向を注視し、今後の検討課題とさせていただきます。